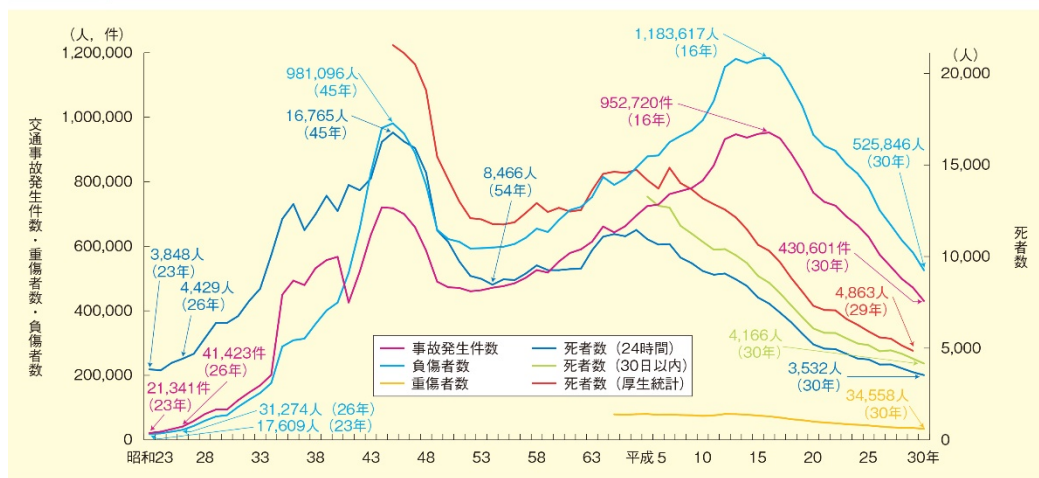


第1編 第1部 第1章 道路交通事故の動向

道路交通事故の長期的推移

交通事故死者数は現行の交通事故統計となった昭和23年以降で最少となった前年を更に下回った。

▶第1-1図 道路交通事故による交通事故発生件数、死者数、負傷者数及び重傷者数の推移



- 注 1 警察庁資料による。
 2 「死者数(24時間)」とは、交通事故によって、発生から24時間以内に死亡した者をいう。
 3 「死者数(30日以内)」とは、交通事故によって、発生から30日以内(交通事故発生日を初日とする。)に死亡した者をいう。
 4 「死者数(厚生統計)」は、警察庁が厚生労働省統計資料「人口動態統計」に基づき作成したものであり、当該年に死亡した者のうち原死因が交通事故によるもの(事故発生後1年を超えて死亡した者及び後遺症により死亡した者を除く。)をいう。
 なお、平成6年以前は、自動車事故とされた者を、平成7年以降は、陸上の交通事故とされた者から道路上の交通事故ではないと判断される者を除いた数を計上している。
 5 昭和41年以降の交通事故発生件数には、物損事故を含まない。
 6 死者数(24時間)、負傷者数及び交通事故発生件数は、昭和46年以前は、沖縄県を含まない。

【交通事故死者数，交通事故発生件数，負傷者数の推移】

- 昭和45年に交通事故死者数は、史上最悪の1万6,765人を記録
- ↓
- 昭和54年には交通事故死者数は、8,466人まで減少。
その後増勢に転じるが、平成4年を境に再び減少に転じる。
- ↓
- 平成16年に交通事故発生件数は、95万2,720件、負傷者数は、118万3,617人とそれぞれ史上最悪を記録
- ↓
- 平成30年に交通事故死者数は、3,532人となり、現行の交通事故統計となった昭和23年以降で最少となった前年を更に下回った。交通事故発生件数、負傷者数は14年連続の減少。

平成30年中の道路交通事故の状況

● 概況

○事故発生件数	43万 601件	(前年比△ 4万1,564件, △8.8%)
○死傷者数	52万9,378人	(前年比△ 5万5,166人, △9.4%)
○うち負傷者数	52万5,846人	(前年比△ 5万5,004人, △9.5%)
○うち死者数 (24時間)	3,532人	(前年比△ 162人, △4.4%)
(30日以内)	4,166人	(前年比△ 265人, △6.0%)

第10次交通安全基本計画(平成28年度～令和2年度)の目標値

- ・令和2年までに、年間の24時間死者数を2,500人以下にする。
- ・令和2年までに、年間の死傷者数を50万人以下にする。

※交通安全対策基本法が昭和45年に制定され、同法に基づく交通安全基本計画を46年以降5年ごとに策定。